

まちづくりの合言葉は
思いやり 支え合い
手と手をつなぐ 大家族たかはま



ちいさなまちの ちいさな楽しみかた

「しあわせ」がテーマだった昨年の特別号で、高浜市の「しあわせづくり計画」に関わるコミュニティデザイナー・山崎亮さんが教えてくれたのは「自分で楽しさを生み出せる人は人生ずっと楽しい」ということ。そして「まちの見方を変える」ことで「魅力」をみつけられ、その人にとっての「地元」が変わるということでした。

いま、データをみると「新しく高浜市に住む」という人口の動きは20～30代の方が最も多くなっています。仕事の関係か、転出の割合もこの世代が多いのが実情ですが、30代後半は定着傾向が見られ「家族で、このまちで暮らしていこう。」と思う方が増えているといえるのではないのでしょうか。

ちいさなまちでの暮らしを楽しむ仲間が増えて、つながりがもっともっと深まるといいですね。

若い方の地元志向が強いといわれる現代、豊かな地方暮らしがメディアに取りあげられることも多くなっています。そのひとつ『ソトコト』は若い世代からも注目されている雑誌です。本誌にコメントをいただきました。

「ちいさい」「やさしい」「よわい」の時代

高浜市さんのつくっているこの特別号は、これからの日本の地方を見つめるうえで、とても大切な要素が詰まっていると感じました。

私たちにとってほんとうの豊かさとは、「おおきい」「きびしい」「つよい」といった、速効性の価値観に基づくものではなく、「ちいさい」「やさしい」「よわい」の3つの言葉が表す、人間味にあふれ、共感を呼び、後からゆっくりじわじわ効いてくるような遅効性の価値観にシフトをしている気がするのです。高浜市を歩けば、この幸せな「ちいさい」「やさしい」「よわい」の価値観が、まちのそこかしこで見つかりそうです。

雑誌『ソトコト』編集長 指出一正さん



月刊『ソトコト』(木楽舎刊)1999年に創刊したソーシャル&エコマガジン。近年はまちづくりや地方移住、仕事づくりなど、日本各地のローカルデザインを紹介



Takahama city

全国のまちの動きを伝える「都市データバック2015年版」(東洋経済新報社)では、全国813市区のランキングが掲載されています。その中で、高浜市を見てみると…

面積…全国813市区中788位です。
人口…全国813市区中604位ですが、人口増加率は64位です。
合計特殊出生率…全国813市区中40位です。
財政力指数…全国813市区中45位です。
第2次産業就業人口…全国813市区中1位です。
※調査対象時点の数値での順位となります。

思いやり 支え合い 手と手をつなぐ 大家族たかはま

編集後記

若い世代の方に手にとってもらえる冊子を作りたい!と、地元出身の若手職員にアイデアを求めました。20代の方が市内で自分の時間を楽しむとしたら?30代後半の方が定住の地として高浜市を選び、実現したこととは?と話が広がり、その延長線上に、自分なりに地元を楽しむ方、第2の人生が地域の絆や発信源を創った方との出会いがありました。

こじんまりとして住みやすい、ちいさなまちの楽しみかたを、もっと探していきたい、もっと皆さんの話を聞きたいと思っています。

別冊 広報たかはま 新春特別号
「ちいさなまちの ちいさな楽しみかた」

平成28年1月1日

編集・発行／高浜市役所総合政策グループ
〒444-1389 愛知県高浜市青木町四丁目1番地2
TEL (0566) 52-1111 FAX (0566) 52-1110
<http://www.city.takahama.lg.jp/>
電子メール info@city.takahama.lg.jp